



# 課題挑む

技術士のソリューション

[140]

廢棄段階注意

某化学工場で、廃液を入れた円筒型のタンク内を洗浄するため、側面にある金属製のふたをガスバーナーで開けようとしたら、内部に滞留していたガスが漏洩して引火・爆発する事故が発生した。タンクは廃棄予定期で、屋外に放置された所で、

日本技術士会・理事

久保 康弘 (生物工学部門)

安全·安心  
⑫

## 一 化学工場の事故防止対策

科学技術・大学

(12) 化学工場の事故防止対策

する廃液はもたらん、各種実験や分析を終了した時に排出される混合溶液などが、廃液タンク内で混ざり合う。それでいて、表出する危険性を確

なく、危険性確認を省くってしまう場合が多い。しかし、廃棄の過程では、化学反応による危険性が確実に存在することを認識する必要性がある。

実は危険な廢液夕、シケ

化し、ふたが外れるといふ認定の上にがましんでいた

認するの」とかほんとうに  
いかつである。 ある口突然に

なっていたので、ハーナーで開けようとした途端に事故が発生、作業員が顔や両足に大やけどを負つた。 製造や開発の段階では、危険性などが十分に検討されるが、廃棄段階では、それに伴う化学反応

混合してから急激に反応する場合なら注意も回復するが、場合によつては反応がほとんど進行しない期間（秀算期）があり、

廃液タンクは一見何でも起きなさそうだが、実は危険だ。製造時に発生した物質を評価するために「コストをかける」とかほんと

混合してから急激に反応する場合なら注意も向くが、場合によっては反応がほとんど進行しない期間（誘導期）があり、見かけ上の変化がないため、特段の処置を講ずる

けれども、そのまま放置されてしまう。しかし、誘導期の間に、実は複雑な反応が種々に進んでおり、ある時、突然に反応の平衡状態が崩れて暴走し、爆発などの事故が生じる。

どのような対策を実施するのかを確認し、混合する観点でいえば、可燃物、

なる廃液同士の混合の際には、発熱や有害物質の生成などを事前に評価しておく。その上で、廃液の性質別に分類し、タンクへの投入手順を確立する。

じういう廃液が出ていくのを確認し、混合する観点でいえば、可燃物、

は、濃度や成分などの異なる廃液同士の混合の際には、発熱や有害物質の生成などを事前に評価しておく。その上で、廃液の性質別に分類し、タンクへの投入手順を確立する。

引火させない工夫、投入方法、禁忌と緊急時の対処法を確実に明記し、対処ができるようになっておいた方が必要である。

また接地アリで取り付け、液体移送時の静電気対策、タンクの放爆構造化、保護具着用、防爆仕様の電気機械器具使用、作業時の換気などの基本的な対策を忘れないことが多いために、忠実に厳守して、防災を実践する必要がある。

支燃物・着火エネルギーの3要素が共存しないようになる。反応を促進させない、かつ引火させない工夫を施す。例えば、属イオンで促進される反応が予想されるなら、反応を抑えるためにキレート剤を事前に投入する、中和反応に用いる薬品には再利用品を使わない、過酸化物の分解を抑制するなどである。



慶應技術士会は、日本技術士会員の慶應義塾大学卒業生が中心となり、平成21年(2009年)4月に日吉(横浜市港北区)で設立総会を開催し、理工学部、同部同窓会との連携活動をスタートした大学技術士会である。活動内容は①会員

慶應技術士会員ト会員会社勤務建設コンサルタント会員

**大森 雄治** (情報工学部門)

技術者教育  
㉙

## 技術士から学生へ

部4年生および修士1年生に、企業、大学などに勤務している会員たちが3対3人程度のグループになって学生と懇談し、「技術士とは?」という質問に答える形式で進行す

る。「当活動は、ボランティアで毎年開催しており、会員15名程度、学生10名程度の参加がある。

そこで最近、iPS細胞(万能細胞)の特許を巡ってさまざまな報道がなされているが、技術士であれば、特許・知財を「創発」する立場になり得る。「創発」する立場になり得る。「創発」する立場になり得る。

# 課題挑む

技術士のソリューション

[141]

を講師とした理工学部特別授業②会員と理工学部学生との対話会③会員同士の交流会であり、1年を通じて活動している。

このうち、②の対話会について、その内容と意義を紹介する。

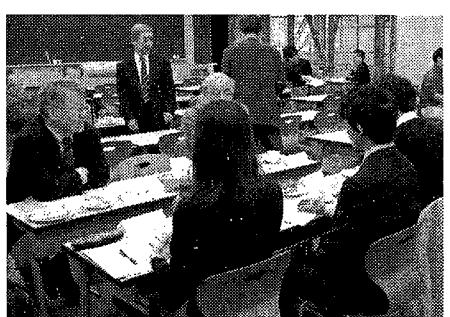
この対話会は、理工学連した技術者倫理の授業を受ける前に、技術士を

る。「当活動は、ボランティアで毎年開催しており、会員15名程度、学生10名程度の参加がある。

そこで最近、iPS細胞(万能細胞)の特許を巡ってさまざまな報道がなされているが、技術士であれば、特許・知財を「創発」する立場になり得る。「創発」する立場になり得る。

慶應技術士会員と学生との対話会では、上級職への認定資格となり、管理技術者になれるなどのことを話すと、驚いた様子であった。

た。業務独立ではない資格の、職業上での活用は、新鮮かつ印象的である。そこでアピールする必要がある。



感じた。

### 動機付けに一役

学生の興味に率直に応えたい③資格は仕事にどう生かせるかを伝えたい、

後日、学生からのアンケートには「就職に対する期待や不安もあるが、将来に対するモチベーションが上がった」との回

学生からは、技術士にからである。

今時の学生らしく、年齢層がどう変わったか、評価がどう変わったか、なった後、職場や顧客の任せられる仕事は高度になつたが、やる気が出たか、などの質問が多いが、参加する会員には、

収がアップしたか、あるいはポストが上がったかなど、至極現実的な質問であった。企業・団体による資格の普及と学生たちの役に立つ啓蒙活動を継続したい。

## 科学技術・大学

あるいは職業選択の幅が広がることを、若い世代に説明する必要があると語るより、意識して、

費補助がなされ、月手当

(火曜日に掲載)



# 課題挑む

技術士のソリューション

[142]

## 巡る技社長

原 真一 (応用理学部門)

技術者教育  
②

### プレゼンテーションの心得

科学技術・大学

仕事の成否左右  
仕事を進め、課題を議論する場合の大切な業務  
スルとしてプレゼンテーションがある。もちろん仕事の成否にかかることがある。

私が企業の研究部門にいたとき、先輩社員から

ある会議で新しいプロジェクトについての方針を提案した。その時、抱いている課題についても全

ての結果、その会議においてその先輩の案が採用された。先輩がその時の責任者に採用理由を問うたところ、「欠点を積極的に述べたのはおまえの提案だけだった。その結果、何をすればいいか明確であった」との回答で

はいうまでもない。自分の提案が持つ課題に向かい合い、その解決法を考えてから発表することに、プレゼンテーションの経験談を聞いた。先輩は、

世の中には、いわゆる「常識」を養うことで、自分の専門と異なる分野においても論理矛盾などに、プレゼンテーションで課題を述べる第一の意味がある。

内容が決まっていれば事前に調べておくこともお勧めする。どの辺に課題がありそうか、何に重点を置かなければいけないのか、見当を付けておくと良い。聞くときは、提案者が何を「言っているか」を探ると提案の本質と課題が明らかになりやすい。事前に考えた課題が発言内容に含まれていなければ、提案者を質

問われる説明力

「セールストーク」があり、聞き手に理解力がないと話し手の言ふがままになりかねない。それでれば良いわけではなく、解決の具体策が必要なの

は聞き手はどうすべきか?まずは普段から周りを観察しておくことであ

る。それは自分の目でも、知人の情報でも、新聞や文献でも良い。観察によれば聞き手が何らかの責任者である場合が多い。聞き手の態度に対応しようとつい不確かな話をしまったり、言いたくないことを隠したりした

てしまったり、言いたく

ないことを隠したりした

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議においてその先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた

ところ、「欠点を積極的

に述べたのはおまえの提

案だけだった。その結

果、何をすればいいか明

確であった」との回答で

はいつい不確かな話をし

て内容に盛り込んだ。そ

の結果、その会議において

その先輩の案が採用さ

れた。先輩がその時の責

任者に採用理由を問うた



# 課題挑む

技術士のソリューション

[143]

居場所なくす  
残念ながら、何もでき  
なかつた事例である。

図は当事務所のクライ  
アント企業の協力を得て  
分析した「技術系部課長  
のやる気喪失の原因」で  
ある。数社で何度か会合  
を重ね、図中の7項目に

國井技術士設計事務所

國井 良昌 (機械部門)

社会基盤⑮

グローバルで戦えるか?

科学技術・大学

## 理不尽な技術人事、逆効果

やる気削ぎ会社に「復讐」も

絞つたその結果である。  
原因の第1位は役職定  
年であり、その驚愕す  
る制度の仕組みは、2年

奪いであり、これら三つ  
で58%を占めている。極  
端に表現すれば居場所が  
ないという。

個人の存続第一に  
「それ見たことか!」と  
心の中で呟くやき、若手  
技術者への適切な助言も  
一切ない。

日本企業の経営不振が  
続く。経営者は、「大震  
災」「海外生産地での自  
然災害」「長引く円高」

ラブルが発生すれば、  
「それ見たことか!」と  
心の中で呟くやき、若手  
技術者への適切な助言も  
一切ない。

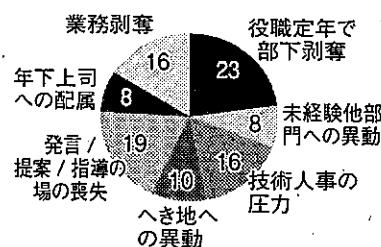
筆者は、相談者からの  
十分な状況を理解した

技術還元が責務

度を実施する前に経営  
者の社会貢献と思うべき  
だ。また、一方的な人事制  
度を実施する前に経営  
者、技術人事、中高年技  
術者の三者で膝を突き合  
わせた話し合いが必要だ  
が、V字回復は、至んだ  
人事制度の見直しから始  
めたい。

居場所なくす  
残念ながら、何もでき  
なかつた事例である。

### 技術系部課長の やる気喪失の原因 (%)



前記のコラムで紹介する技術部長から希望退職の相談を受けた。56歳とて、この役なった誕生日の翌日から、全ての部下を剥奪され一般職になつたというのが、これをその企業では「役職定年」と呼んでいた。部長とは部下がいて、役を成す。野球やサッカーと「業務剥奪」の監督に置き換えられた彼らの第一目標は、今や個人の存続となつた。一方、会議に出席すれば進歩的な技術論争が交わされたが、「見ざる・言わざる・聞かざる」の態度を決め込む。技術ト

ーの意味で発したという。このままでは、ますます急伸する隣国の工業化ベンジの前に、優秀な人材が伸びる。一方で成長した分を、日本の技術者が還元することが技術者の社会貢献と思うべきだ。また、一方的な人事制度を実施する前に経営者、技術人事、中高年技術者の三者で膝を突き合わせた話し合いが必要だ。V字回復は、至んだ人事制度の見直しから始めたい。

(火曜日に掲載)





コノピューターシステム(以下システム)は人の作業より迅速で正確に結果を得られるので、企業活動活性化や生産性向上に必須である。現在はネットワーク技術を用いて遠隔地と交信し、複雑な処理をするシステムがパーソナルコンピュータ上で実現できる。構築は

技術士事務所  
ケーエムソフト所長

## 熊澤 壽人 (情報工学部門)

情報技術⑧

## システム設計開発の迅速化と応用

科学技術・大学

企業規模やシステム規模に影響せず、少人数で開発可能である。保守時もツールで多くを処理でき

根絶を目  
え、不備や検討漏れはい  
が厳密な  
れの無い  
絶を追求しない方法にし  
作成し、  
た。システムは出力用の

処理できた。この方法は、古いドキュメントに頼る部分が少ない。トに優先順位を明確化し、大企業や中堅企業の例では作業工程把握や進捗管理から数週間で順次運

データ(大量データ)で一元管理し、企業と会計事務所と連携もする。この考え方は技術士会とノウハウを充実し、システム設計開発に携わる人たちや、今後携わる学生たちに考え方を伝え、

の作業より迅速で正確に結果を得られるので、企業活動活性化や生産性向上に必須である。現在はネットワーク技術を用いて遠隔地と交信し、複雑

課題

題  
兆  
む

[145]

早期実現を要求され、設計開発の効率化が重要である。従来さまざまな計手法が提唱されていて、が、想定外の期間延長やコスト高などを起す場合もある。

**不備や検討漏れ**

予定に影響し、常に課題となつてゐる。課題解決に考え方を変化させることで、問題を解決する。この結果、固有アルゴリズム以外、多くを自動ツールで再処理する。

## システム構成のパターン化と自動化部分



▲グレーは自動化部分  
▲機能の追加も容易  
従来の自動プログラム  
ングツールとの違いは、  
従来はプログラム生成  
後、機能追加や設計変更  
で再構築すると追加機能  
の多くが壊れる。一方で

るので、古いドキュメン  
トに頼る部分が少ない。  
大企業や中堅企業の例  
は作業工程把握や進捗管  
理、月次年次実績比較や  
統計・予測などがある。小  
規模や個人企業では、顧  
客管理とPOS(販売時  
間情報管理)連携、申請書  
の東北大学で、講演や実  
演を行った。

この考え方には技術士会  
の技術論文に入選し、東  
京、大阪、名古屋、中国  
・大連のエキスポ、瀋陽  
人たちや、今後携わる学  
務所と連携もする。

生たちに考え方を伝え、  
意見を交わし、自動化率  
向上とシステム設計開発  
保守の効率化に役立てた  
い。

(火曜日に掲載)

るので、古いドキュメン  
トに頼る部分が少ない。  
大企業や中堅企業の例  
は作業工程把握や進捗管  
理、月次年次実績比較や  
統計・予測などがある。小  
規模や個人企業では、顧  
客管理とPOS(販売時  
間情報管理)連携、申請書  
の東北大学で、講演や実  
演を行った。

この考え方には技術士会  
の技術論文に入選し、東  
京、大阪、名古屋、中国  
・大連のエキスポ、瀋陽  
人たちや、今後携わる学  
務所と連携もする。

生たちに考え方を伝え、  
意見を交わし、自動化率  
向上とシステム設計開発  
保守の効率化に役立てた  
い。

(火曜日に掲載)



# 課題挑む

技術士のソリューション

[146]

「「すかたの お城の  
草に 寢ひて 空に  
吸われし 十五の心」  
中学生だった石川啄木  
が、盛岡城跡の草原から  
自分の将来を夢見ている  
姿である。空そのものを  
ボンヤリ見ていたわけ  
はない。空の向こうを見  
ていたのである。

空の向こう見る

ジャパンディスプレイ  
シニアゼネラルマネージャー

矢野 知隆 (経営工学部門)

技術者教育(25)

## 空に吸われし十五の心

が通った時の足跡で、そ  
こに飛行機がいたことが  
わかる。小柴先生は、飛  
行機雲を見た瞬間に「ユ  
ーリノの観測方法を  
ひらめいた」のであ  
る。豊富な事象を知り、  
自分が解きたい課題を深  
く洞察していく、はじめ  
て「ひらめき」が生まれ  
る。たのである。

事象つなげる

我々が目指すべき「技  
術者教育」の像は、まさ  
に「ひらめき」がある。意  
識して連想しているわけ  
ではない。瞬間の「ひら  
めき」で、目前の向こう  
の異なる事象をつなげら  
れる、そんな若者を育て  
て、結婚に至った

## 深い洞察がひらめき生む

遠大な課題解く糸口に  
いたのである。

たのである。  
たのである。

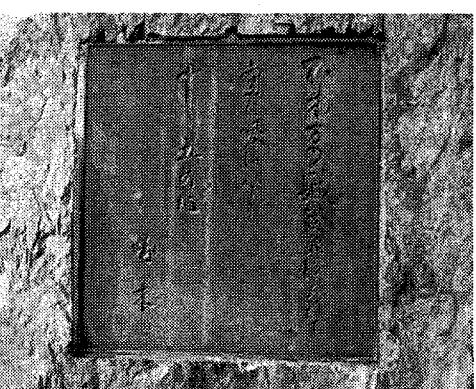
盛岡城跡公園を刈り取る工夫をして  
いる。受講者は目前課題  
に近いカリキュラムには  
大きい興味を示す。目前  
課題から遠いカリキュラムには  
出席希望も少ない。「遠い所にこそ将来  
のひらめきの種があるん  
だよ」と言い続け、学ぶ  
べき事項の比率を「近  
い」対「遠い」が2対1  
になるよう受講者に課し  
ている。

関西の大手電機メーカー  
の教育施設を見学させて  
いたいことがある。  
私は、社内エンジニア  
の「技術者教育」を設計  
し実行し是正し、その成  
果を刈り取る工夫をして  
いる。受講者は目前課題  
に近いカリキュラムには  
大きい興味を示す。目前  
課題から遠いカリキュラムには  
出席希望も少ない。「遠い所にこそ将来  
のひらめきの種があるん  
だよ」と言い続け、学ぶ  
べき事項の比率を「近  
い」対「遠い」が2対1  
になるよう受講者に課し  
ている。

## 科学技術・大学

ターゲットが、後者  
の施設で瞑想している  
と、創業者が夢枕に現れ  
て「ひらめき」が生まれ  
る。たのである。

私は、社内エンジニア  
の「技術者教育」を設計  
し実行し是正し、その成  
果を刈り取る工夫をして  
いる。受講者は目前課題  
に近いカリキュラムには  
大きい興味を示す。目前  
課題から遠いカリキュラムには  
出席希望も少ない。「遠い所にこそ将来  
のひらめきの種があるん  
だよ」と言い続け、学ぶ  
べき事項の比率を「近  
い」対「遠い」が2対1  
になるよう受講者に課し  
ている。



盛岡城跡公園

果を刈り取る工夫をして

園の啄木の

いる。受講者は目前課題

歌碑

に近いカリキュラムには

大いに興味を示す。目前

課題から遠いカリキュラムには

出席希望も少ない。

い。「遠い所にこそ将来

のひらめきの種があるん

だよ」と言い続け、学ぶ

べき事項の比率を「近

い」対「遠い」が2対1

になるよう受講者に課し

前者をマス

ている。







英語が企業公用語  
グローバル競争社会と言われて久しい。その競争において日本が敗色濃厚となつてくると、次第にその責任道及は教育、とりわけ英語教育へと向けられる。英語がいくぶん堪能でもノーベル賞が与れるわけでも大起業家になれるわけでもない。しかし、世界で戦わなければ

# 課題挑む

[150]

Ovum Software Inc.  
代表取締役

**小松 聰** (総合技術監理・  
情報工学部門)

ばならない」とと相成つたのである。しかし英語の学習には苦労する。エジニアであればなおさらである。なんとかうまいかないものか。そう考えて私は、出版社（株式会社アルク）と共に、この理論はプラント制御対象の動的あるまじめを決定する状態方程式に基づいて、2種誤差最小化などのクライティアの下にファイードバック制御系を最適化するものである。この理論はプラント

**情報技術⑨  
英語学習システムの開発**

科学技術・大學

野にムを工夫  
教材をインプットとして与えるとの内部状態が何らかの方程式に基づいて変化し、その状態の一部が外部手段（テストやゲームなど）によって成績として計測され、その値と目標値に基づいて新たなインプットを生成するというループになる。  
これはまさに工学的制御学習の過程を考えてみると、ある内部的特性をもった生徒がいるとして

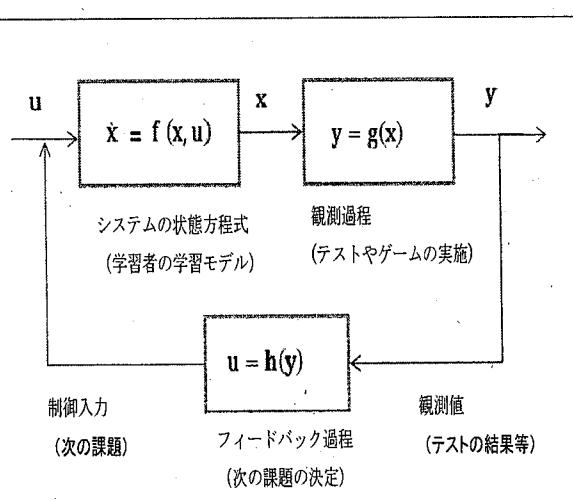
くして諸兄もそのうえで、たぬきをめぐらない企業戦士のうえで、戦闘能力に深く関係していることは間違いない。英語を公用語とする企業も現れる事態となつた。

ばならない企業戦士の平均的戦闘能力に深く関していることは間違いく、英語を公用語とする日本企業も現れる事態になつた。

理系的発想で

私はロボット工学に携わっていた」ともあり、現代制御理論をこの開発

制御やロボット工学等に用いられたものであるが、その思想的背景を考えると、教育分野においても有用な示唆を含んでゐるところと考えられる。



理論の枠組みそのものがあるといえる。(図) 世間の学習システムを見渡すと、コンピュータの配信や管理方法に重点を置いたものが多く学習アシスタントが工夫されており、基本的に文科系の発想によって作られて

いるとの印象がかかる。この分野は、理系と理科系ののはずであり、理系的発想をば、多くの寄与のもと考えた。たとえば制御状態変数」「

強い。し  
者からは「中に家庭教師本來、文  
が入っているようだ」な  
境域領域  
どの感想が得られていく  
積極的に  
る。また、現在に至るま  
で約100校の教育機関を  
導入されており、諸兄  
ができる  
やむ子息のお役に立てる  
系でいつ  
ことを願っている。  
（火曜日）  
（掲載）  
フィーダ

ハック「最適化」との概念を、学習システムにどうのよれに定義するかなど、視点で検討してみると、必ずしも新らしい展開が見えていく。